

# 乗雲



しゅそほんそくぎょうちゃ  
首座本則行茶

H16.5.15 海蔵寺様にて

寺報 第62号

H16.6.1 発行

広蔵寺

〒959-2646 新潟県

北蒲原郡中条町

西条町 2-8

TEL0254-43-2419

FAX0254-43-4560

振替

00650-4-5381

住職 神田英俊

Eメールアドレス

tera@kogonji.jp

## 首座法戦式（しゅそほつせんしき）

この度ご縁をいただき当寺の徒弟（次男）神田秀孝（駒沢大学仏教学部仏教学科二年在籍）が五月十五日、十六日に神林村七湊の海蔵寺様にて僧侶としての第二の出世、立身の儀を修行した。（＊長男は平成十三年黒川村夏井、円福寺で修行）これは海蔵寺二十六世となる小島正人師の晋山法要に併せての結制修行における首座（修行者の第一）を務めたもの。（＊平成十二年の広蔵寺の晋山結制式には新発田市島潟、龍泉寺徒弟森井俊隆さんが首座を務めている。彼は現在横越町沢海の大栄寺専門僧堂で日々修行に励んでいる。）

法要前日剃髪して頭を整えてやる。親子ではあるが法要では師匠と弟子、互に向き合い、丁寧な礼拝をし合う。よくぞここまでできたものと感涙しきり。祝語は「この勝縁を大切に、さらに惑徒知識、惑徒経巻、弄精魂、修行如法」と励ましの言葉を述べる。写真の「本則行茶」（本則は達磨廓然の話）は明日の法戦・問答について、西堂（＊村上羽黒町、満福寺川瀬牧牛老師）というお役で結制修行をご指導いただく老師より提唱（問答の解説）があり、法戦の無事を祈り皆でお茶をいただく儀式。翌日の「法戦式」は法の戦い、日頃の修行について問答をかわす儀式。

結制上堂問答、首座「如何なるか是れ仏道修行」、須弥壇上、新命住職より「精進、精進、さらに精進」と警策一打。肝に銘じて、この後の人生を歩んでもらいたい。